

2020年3月9日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2020年3月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2020年3月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景況感の悪化に歯止めがかからず6期連続の低下。 マイナスは3期連続で、2012年12月期以来の低水準。
景気の方角	米中貿易摩擦の一時休戦で回復が期待されていたが、 新型コロナウイルスの影響により、 先行き不透明感は解消されず、悪化の見通しが強まる。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 後藤・中澤 TEL 0584-74-2631】

OKB景況指数（2020年3月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある112支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2020年2月中旬に調査票を配付し、2月末までに回収

調査結果

景気的水準： 景況感の悪化に歯止めがかからず6期連続の低下。マイナスは3期連続で、2012年12月期以来の低水準。

景気の方： 米中貿易摩擦の一時休戦で回復が期待されていたが、新型コロナウイルスの影響により、先行き不透明感は解消されず、悪化の見通しが強まる。

	景気的水準(2020年3月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は▲19.6（前回は▲12.3）と6期連続で低下。マイナスは3期連続となり、景況感の悪化に歯止めがかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲76.0と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>中国経済が減速傾向にあった中で、さらに新型コロナウイルスの影響を受け、経済活動は不透明さを増した。足元では、新型コロナウイルスの影響で、中国人観光客をはじめとするインバウンド消費が減少。今後の影響も未知数。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲21.8（前回は▲13.4）と2012年12月期以来の低水準。マイナスは2期連続。 ・岐阜県は▲18.1（前回は▲11.2）と2016年6月期以来の低水準。マイナスは3期連続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲78.9と「悪化」超 ・岐阜県は▲74.5と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県では、新型コロナウイルスによる物流停滞が、自動車、工作機械などの製造業の生産活動に影響し始めており、今後も冷え込む見込みである。</p> <p>・岐阜県では、建設業はおおむね好調であるものの、自動車関連を中心に製造業は受注減少傾向。今後も新型コロナウイルスの影響を懸念する声が多い。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・前回調査でプラス水準であった西三河を含む9地域で低下し、飛騨・郡上を除く9地域がマイナスとなった。 ・飛騨・郡上は横ばい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 該当なし ・「悪化」超 全地域
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 主要産業である自動車業界は、消費税増税に伴う国内需要の低迷、新型コロナウイルスの影響による中国市場低迷から、先行きを不安視する声が多い。</p> <p>【西濃地域】 現時点では新型コロナウイルスの影響は限定的であるが、今後、特に製造業を中心に悪化する懸念がある。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、全項目で前回調査から低下し、「雇用」を除く5項目は依然マイナス圏。特に「個人消費」「生産活動」「設備投資」は下げ幅が大きい。 ・「雇用」は4期連続で不足感が低下しており、人手不足感に改善の兆しが見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 該当なし ・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：消費税増税に加え、新型コロナウイルスの影響により消費行動範囲が狭くなっている。</p> <p>「生産活動」：新型コロナウイルスの影響で中国の工作機械、建機の生産停止に伴い、国内の生産活動も低迷している。</p> <p>「設備投資」：改修・修繕の需要はあるが、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス等先行き不透明な中、積極的な投資を控える企業が多い。</p> <p>「企業収益」：消費税増税、人件費・原材料費等の高騰に加えて、新型コロナウイルスの影響により収益悪化が見込まれる。</p> <p>「雇 用」：業種を問わず人手不足感は変わらずあるが、低調な生産活動により、人員に余剰のある企業も出てきている。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方向)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
- ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2020年3月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し
名古屋	▲17.6(▲2.9)	↘	▲26.5(▲23.5)	↘	▲23.5(▲20.6)	↘	▲20.6(▲11.8)	↘	▲8.8(0.0)	↘	▲26.5(▲8.8)	↘	52.9(▲17.6)	↗
東尾張	▲22.0(▲10.0)	↘	▲28.0(▲32.0)	↘	▲20.0(▲10.0)	↘	▲10.0(▲2.0)	↘	▲16.0(▲4.0)	↘	▲10.0(▲6.0)	↘	68.0(▲6.0)	↗
西尾張	▲30.6(▲22.2)	↘	▲27.8(▲13.9)	↘	▲30.6(▲22.2)	↘	▲25.0(▲16.7)	↘	▲30.6(▲13.9)	↘	▲33.3(▲16.7)	↗	52.8(▲19.4)	↔
西三河	▲12.5(▲25.0)	↘	▲25.0(▲25.0)	↘	▲25.0(▲50.0)	↘	0.0(▲12.5)	↘	12.5(+12.5)	↘	0.0(0.0)	↔	75.0(+25.0)	↔
東三河	▲16.7(▲16.7)	↘	▲50.0(▲50.0)	↘	0.0(0.0)	↘	▲33.3(▲50.0)	↔	0.0(0.0)	↘	▲33.3(▲33.3)	↔	66.7(0.0)	↗
岐阜	▲22.1(▲17.4)	↘	▲19.8(▲4.7)	↘	▲19.8(▲14.0)	↘	▲23.3(▲18.6)	↘	▲10.5(▲5.8)	↘	▲32.6(▲3.5)	↘	53.5(▲11.6)	↗
西濃	▲9.3(▲7.4)	↘	▲14.8(+5.6)	↘	▲5.6(▲9.3)	↘	▲14.8(▲11.1)	↘	▲20.4(▲14.8)	↘	▲25.9(0.0)	↘	57.4(0.0)	↗
東濃・可茂	▲27.8(▲5.6)	↘	▲16.7(▲16.7)	↘	▲27.8(▲16.7)	↘	▲16.7(▲16.7)	↘	▲33.3(▲5.6)	↘	▲5.6(+11.1)	↘	61.1(0.0)	↗
飛騨・郡上	0.0(0.0)	↘	▲50.0(▲16.7)	↘	▲50.0(▲16.7)	↔	▲33.3(+50.0)	↔	0.0(+16.7)	↘	▲16.7(+50.0)	↔	83.3(0.0)	↗
桑名・四日市	▲16.7(▲16.7)	↘	0.0(0.0)	↔	▲50.0(▲33.3)	↘	▲16.7(▲16.7)	↘	▲33.3(▲16.7)	↘	▲16.7(+16.7)	↔	16.7(▲16.7)	↔
愛知県(5地域)	▲21.8(▲13.4)	↘	▲28.2(▲25.4)	↘	▲23.2(▲19.7)	↘	▲16.2(▲11.3)	↘	▲14.1(▲3.5)	↘	▲19.7(▲9.9)	↘	61.3(▲8.5)	↗
岐阜県(4地域)	▲18.1(▲11.2)	↘	▲19.7(▲4.8)	↘	▲19.1(▲13.3)	↘	▲20.2(▲11.7)	↘	▲17.0(▲6.9)	↘	▲24.5(+3.7)	↘	58.0(▲5.3)	↗
三重(1地域)	▲16.7(▲16.7)	↘	0.0(0.0)	↔	▲50.0(▲33.3)	↘	▲16.7(▲16.7)	↘	▲33.3(▲16.7)	↘	▲16.7(+16.7)	↔	16.7(▲16.7)	↔
全地域	▲19.6(▲12.3)	↘	▲22.5(▲13.2)	↘	▲21.9(▲16.7)	↘	▲18.4(▲11.7)	↘	▲16.4(▲5.8)	↘	▲22.2(▲1.5)	↘	57.9(▲7.0)	↗

(*) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*) 2) ()内の前同比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(*) 3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↘、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2020年6月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲82.4	▲35.3	▲52.9	▲29.4	▲76.5	▲35.3	11.8
東尾張	▲84.0	▲36.0	▲76.0	▲24.0	▲64.0	▲16.0	12.0
西尾張	▲66.7	▲55.6	▲44.4	▲61.1	▲61.1	11.1	0.0
西三河	▲75.0	▲50.0	▲100.0	▲75.0	▲100.0	0.0	0.0
東三河	▲100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	▲100.0	0.0	33.3
岐阜	▲69.8	▲37.2	▲55.8	▲11.6	▲60.5	▲4.7	20.9
西濃	▲74.1	▲33.3	▲59.3	▲48.1	▲48.1	▲29.6	11.1
東濃・可茂	▲88.9	▲33.3	▲66.7	▲44.4	▲55.6	▲11.1	22.2
飛騨・郡上	▲66.7	▲33.3	0.0	0.0	▲66.7	0.0	33.3
桑名・四日市	▲66.7	0.0	▲33.3	▲33.3	▲66.7	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲78.9	▲45.1	▲66.2	▲39.4	▲71.8	▲11.3	8.5
岐阜県(4地域)	▲74.5	▲35.1	▲55.3	▲27.7	▲56.4	▲12.8	19.1
三重(1地域)	▲66.7	0.0	▲33.3	▲33.3	▲66.7	0.0	0.0
全地域	▲76.0	▲38.0	▲59.1	▲32.7	▲63.2	▲11.7	14.0

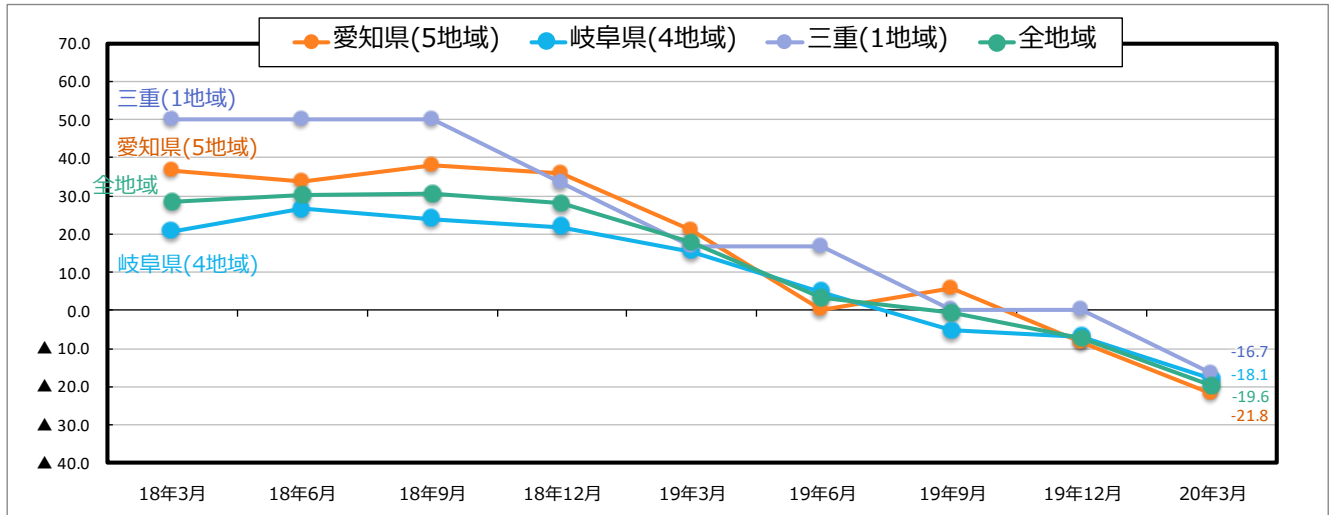
(*) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

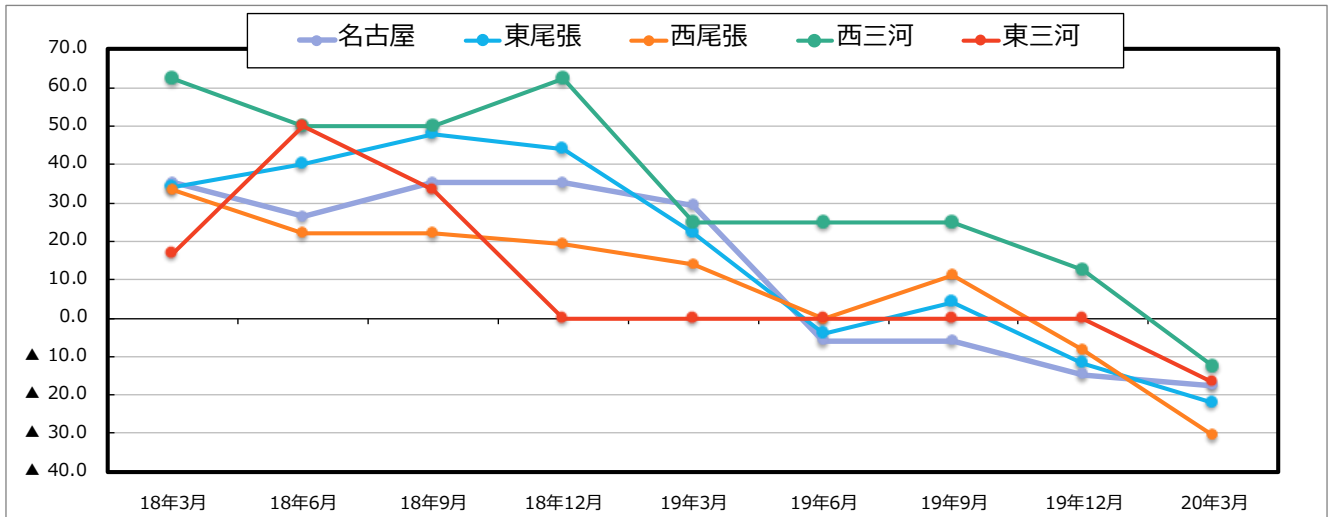
「景気の水準」の推移

■ 県別

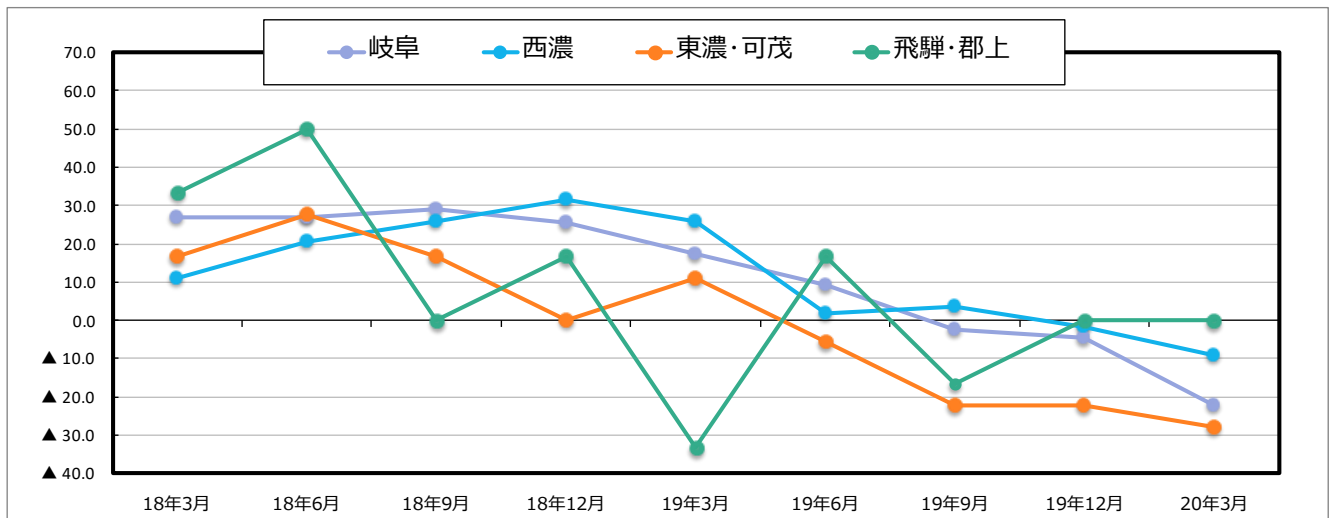


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上